

小杉楹郵 こすぎのりゆう 國學者、歌人、文學博士。天保五年十一月二十日阿

波國生れ、明治四十二年二月二十九日歿（六十四）。幼名五郎。

號杉園、硯堂、筆名小杉園のすきむら、小杉園の楹郵、小杉梧村、小

杉真飛、杉園の主楹郵、深靜草堂、老杉園主人楹郵等。文久二年江戸

に赴き、勤王を陪へて翌年幽閉せられる。明治二年長久館國典學校教授、

七年教部省出仕、十年内務省御用掛、十四年文部省に入りて「古事類

苑」編纂に従事、翌年東京大學文學部古典科准講師、二十二年帝室博

物館歴史美術部公奉職、二十二年東京美術學校教授。御歌所參候。

著書 印刷 注葉華物語（校定、卷之一。明治二十二年七月一日、卷之一

・九月二十日、卷之二・十一月二十四日大八洲學會）、口 秋の一夜

（明治二十一年二月二十一日青山清吉刊）、口 名文評釋（合著・國

學院編、明治二十四年五月四日博文館）、口 大日本美術圖譜解説（全

四冊）横井時冬共著、明治二十四年十月十日吉川半七刊）、口 春白菊

小傳（編、明治四十年四月二十一日春白菊道德會）、口 幽囚自詠

（老杉園主人楹郵名、明治四十三年九月八日小杉美二郎刊）等。